

地域懇談会を終えて

北条地区コミュニティ振興協議会

会長 江尻 東磨



地域懇談会を、大勢の皆さまのご参加を頂き開催致しました。本年度から市の方針で、一つのテーマを持つて、懇談会に臨むことになりました。

市のテーマに関しては、会田洋市長から説明がありました。その資料はコミュニティセンターにありますので、どうぞご一読ください。

- 一、震災から復興に向けて
- 二、安全で安心して住めるまちづくり
- 三、安心して子どもを産み育てられるまちづくり

北条地区からのテーマ

①北小学校廃校に伴い長鳥地区の災害避難所について

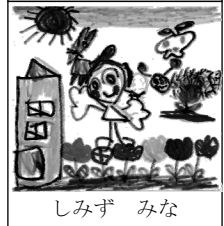
市役所現在旧北小は避難所指定だが、いずれは解体。災害避難所は各町内の集会所に願いたい。

北条集会所は、耐震調査もしていないし、避難者受け入れスペースが不足。校舎を改良し避難所として残して頂きたい。原子力災害避難所の指定はどこに。また、多目的施設として借用出来ないか。

市役所今のところ、各町内の集会所しか考えていない。原子力災害避難所指定の件は、今後検討する。多目的施設としての貸付は難しい。

北条災害避難所の件は、再折衝する必要があります。旧北小グラウンドの借用はどうか。市役所公用地の農地への転

北条地区
コミュニティ協議会
TEL25-3355



しみず みな

用や貸付は不可能。
②農村公園の維持管理費の補助について

北条公園公共料金（光熱水費）の助成。維持管理費の地元負担が大きい。助成をお願いしたい。除草剤の支給を継続願いたい。

市役所出来るだけ支援をしたい。除草剤の件は了解。その他、町内から十九の要望事項をいただいているが、主旨が懇談会であり時間的制約や個別案件であるため、直ちにお答え出来ない。

個別案件については、「現地聞き取り踏査」を要望致しました。要請があれば、職員が出向くとのこと。原則として、市への陳情・要望事項は、市秘書広報課へ。秘書広報課で内容を判断し各所管と調整します。大変難儀と、お手数をお掛けします。とのことでした。

なにはともあれ、「安全で安心して暮らせるまちづくり」更なる未来に向けお互い頑張りましょう。

北条防災ネット 市民レポーター養成講座開催

標題の講座がコミセン和室で開かれ、関心を持つ小・中学生から高齢者までの三十余名が熱心に受講に取り組みました。

第一回 十一月七日(土) 午後一時より三時まで

講師 中川 和之 様
時事通信社 編集委員

主題並びに学習内容
災害時の市民レポーターの役割について

- ・無秩序状態増大を防ぐのが情報伝達機関の使命
- ・阪神・淡路大震災時に果たした報道関係機関の貢献と実績
- ・よりよい広報紙づくりの具体的手法と配慮点

講師のお話は字幕付きの豊かな写真映像資料をもとにされたので、臨場感と具体性があり、受講者には理解が容易にできました。

第二回 十一月十四日(土) 午後一時より三時まで
講師 秋山 三枝子 様
くびき野 NPO サポートセンター 理事長

主題並びに学習内容
市民視野のコミュニティ広報紙づくりについて

- ・コミュニティ広報紙は地域を元気づける応援団
- ・講師の豊かな経験をもとにした企画・取材・編集・紙面づくりの秘訣披露
- ・インタビュウの実地演習
- 二人対になっての相互課題取材「この人にときめき」

女性講師ならではの広報紙づくりのきめ細かい配慮点や地域へのまなざしは納得するばかりでした。

受講を終えて
広報エリアは全国・上越地方・当北条と違うものの広報紙の使命や紙面づくり手法の根拠は同じとの認識を深めました。広報紙取り組みへの意欲を興し、役立つ講座でした。
(山なみ編集室 禮治郎)

